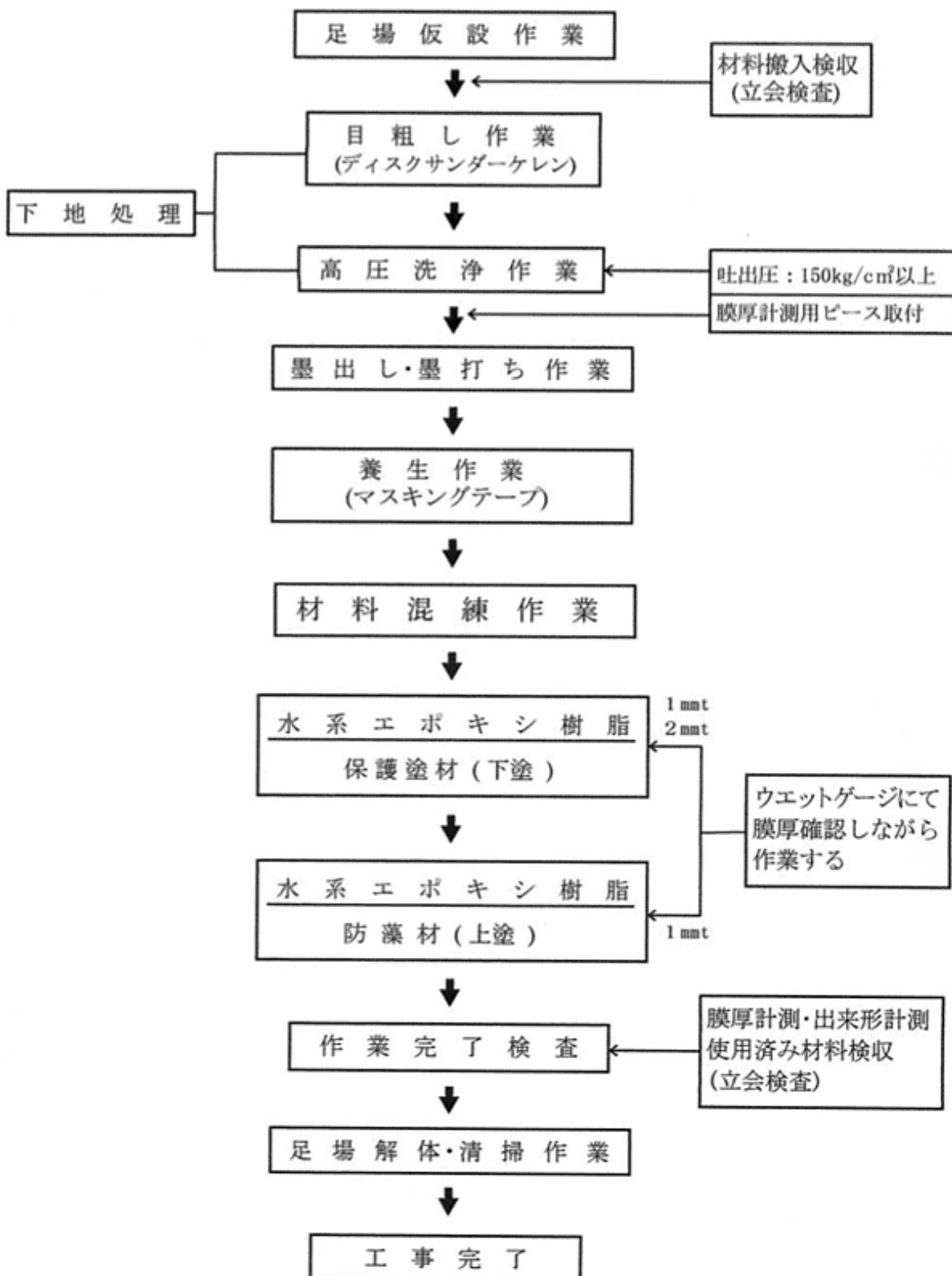




# ポリマーセメント系防藻塗材 施工フロー図



# 作業手順書

分類番号	作業名称	
	防藻材塗覆工事	
作業区分	手順	品質、安全上の急所

## 準備作業 1.客先との調整

## 2.仮設足場の架設作業

### (1) K Y活動の実施

作業内容、作業範囲の確認

### (2) 足場の架設

仮設足場計画書に基づき架設する

(必ず2人以上の共同作業とし、材料の受渡しは、相互合図確認しながら作業する。)

○ 安全帯、手袋などの着用。

○ 単独作業の厳禁。

## 3.材料の保管及び管理

材料搬入立会検収を受けるため、材料の数量が判明出来るように保管する。

(1) 材料の保管は、あげ床のある倉庫に乾燥状態で保管することを原則とする。

(2) 屋外に保管する時は、土・コンクリート面に接する事のないようパレット等を敷き、その上に積み重ねる(※材料別に保管する。)

○ 積み重ね段数は(目安)

Sコンパウンド(25kg/袋)は8段以下

P Cエマルジョン(5kg/缶)は3段以下

Cコンパウンド(6kg/袋×2)は3段以下

着色剤(3kg/缶)は1段とする

材料の周囲は、風雨の場合でも、雨水の侵入のないようにシート数枚を重ね、トラロープ、又は他のロープで固縛する。

(3) 使用材料の空袋・空缶は各工程毎に確認(対設計数量)し、過不足を把握し準備する。

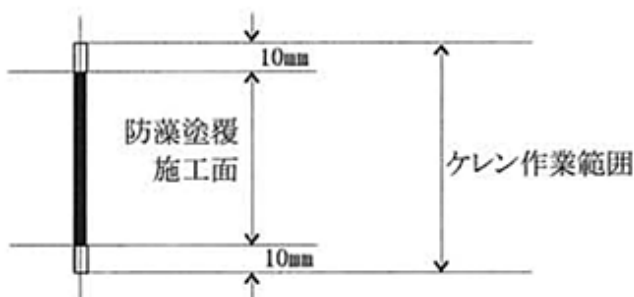
※ 各工程毎に使用数量を監督がチェックすることもあるので、その都度準備しておくこと。

○ 冬場は、氷点以下になる恐れのある場所には保管しないこと。

- (4) 使用材料は  
 Sコンパウンド袋、Cコンパウンド袋は、  
 10枚ずつ束ね固縛する。  
 P Cエマルジョン容器はカッターで半分に切り  
 10枚重ねて固縛する。

本作業 **1.ディスクサンダーケレン作業（下地処理）**

- (1) ダイヤモンド歯付きの治具を使用し、ケレン作業を行う。  
 (2) 保護具（メガネ、マスク他）を着用し、小型プロワーでエアプロウ確認しながらケレン作業を行う。  
 (3) 施工面の上、下（端部）を+10mmマーキングし、余分にケレン作業を行う。

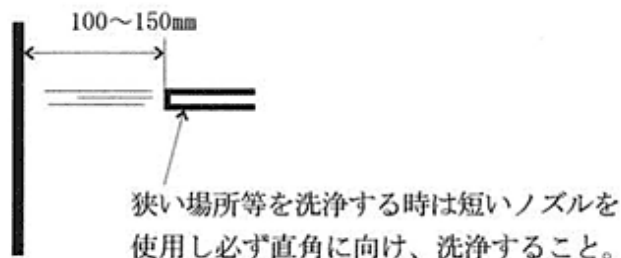


- ケレン残し部分がないか全面確認する。
- コンクリート脆弱部を確認する。  
 （脆弱部がある時は下地材で先行して修復する。）

- 片手作業厳禁、必ず両手作業とする。
- 30分毎に休みをとる。  
 適宜、マスクのフィルターを取替えながら作業を行う。
- ディスクサンダーのスイッチは、手元ON - OFF 厳守する。
- 作業通路の整理整頓、コードの流れを確認しながら作業を行う。

**2.高圧洗浄作業**

- (1) 洗浄機の筒先（ノズル）100mm～150mm 距離をキープし施工面にノズルを直角に向け、全面洗浄する。



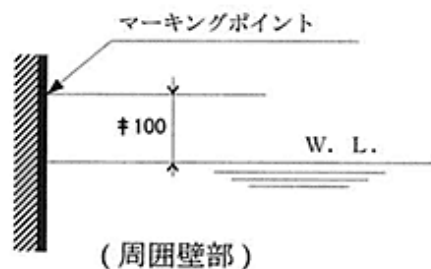
- 洗浄機の吐出圧：150kg/cm<sup>2</sup>以上であることを確認する。

- 単独作業は厳禁。  
 必ず2名以上の共同作業とし相互監視を行うこと。
- 洗浄ノズルのレバーは固縛しないこと。
- 作業通路の整理整頓、高圧ホースの流れ、ねじれ等の修正を確認しながら作業

- 洗い残し部がないか全面確認する。 を行う。
- コンクリートの水引き状態を確認する。

### 3. 墨打ち・墨出し作業／養生作業

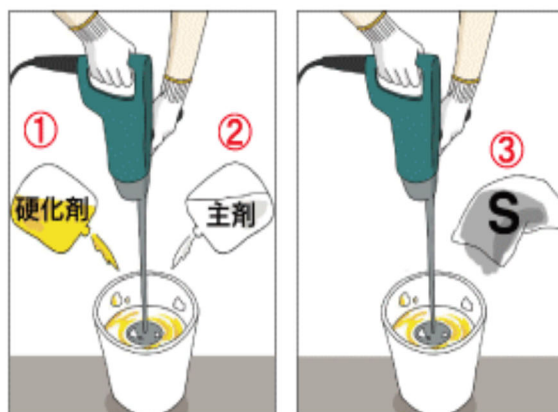
- (1) 設計寸法通りマーキングを行い、養生（マスキングテープ）作業を行う。
  - 材料が飛散、落下するため、作業面の下部周辺のチェーンフライト、ホイール等はビニールシート等で養生する。



### 4. ピラコート及びラインガード調合・混練作業

- (1) 材料の調合・混合
  - 材料の混合。
  - 規定量のエマルジョンを混合容器に入れ攪拌し、各種塗材を下図の手順で混練する。
    - \* ラインガードは水で希釈しないこと。
  - 材料は必ず、十分に攪拌すること。
  - \* 材料の混合は各混練材料の1/2ずつ調合する。
  - 調合した材料は使用直前に再度攪拌し、使用すること。
- (2) 下地材・防藻材の塗覆面積
  - ピラコート（下地材）50kg/セット 約 12.5m<sup>2</sup>/2mm 厚
  - \* 夏季は乾燥が早いので各混練材料の1/4ずつを調合する。
  - ラインガード（防藻材）50kg/セット 約 16.6.0m<sup>2</sup>/1mm 厚
  - 混合容器の隅部は、特に入念に攪拌する。
  - 気温5℃以下での調合はしないこと。

### ◆ピラコート調合手順



- 1.底の丸い容器を用意する。
- 2.PCエマルジョンの硬化剤①と主剤②を攪拌機で1～2分間よく混合する。
- 3.混合したPCエマルジョンにSコンパウンド③を徐々に加えながら攪拌機で2～3分間よく混合する。

※混合した材料は、冬場で1時間、夏場は30分くらいで使い切ってください。  
塗材の調合の目安は1/5づつ混合してください。  
※気温5℃以下での施工はおやめください。

#### ピラコート製品



●商品構成：ピラコート/35kgセット  
PCエマルジョン…  
水系エポキシ樹脂 — 主剤 5kg/缶  
硬化剤 5kg/缶  
Sコンパウンド…モルタル骨材 25kg/袋

### ◆ラインガード調合手順



- 1.底の丸い容器を用意する。
- 2.PCエマルジョンの硬化剤①と主剤②を攪拌機で1～2分間よく混合する。
- 3.混合したPCエマルジョンにSコンパウンド③を徐々に加えながら攪拌機で2～3分間よく混合する。
- 4.次にCコンパウンド④を徐々に加えながら攪拌機で2～3分間よく混合する。
- 5.最後に着色剤⑤を徐々に加えながら着色が均一な色になるまで攪拌機でよく混合する。

※混合した材料は、冬場で1時間、夏場は30分くらいで使い切ってください。  
塗材の調合の目安は1/5づつ混合してください。  
※気温5℃以下での施工はおやめください。

#### ラインガード製品



●商品構成：グレー/50kgセット ブルー/50kgセット  
PCエマルジョン…  
水系エポキシ樹脂 — 主剤 5kg/缶  
硬化剤 5kg/缶  
Cコンパウンド…樹脂体 6kg/袋×2袋  
Sコンパウンド…モルタル骨材 25kg/袋  
着色剤…グレー 3kg/缶  
ブルー 3kg/缶

## 5. ピラコート（下地材）及びラインガード（防藻材）コテ仕上げ作業

WET・ゲージで膜厚を確認しながら、コテ仕上げ作業を行う。

○ 作業後降雨が予想される時は必ず塗覆部

- ピラコート（下地材） 平均2mm厚
- ラインガード（防藻材）平均1mm厚

をブルーシート等で  
多い養生する。

(1) ピラコート（下地材）コテ仕上げ作業

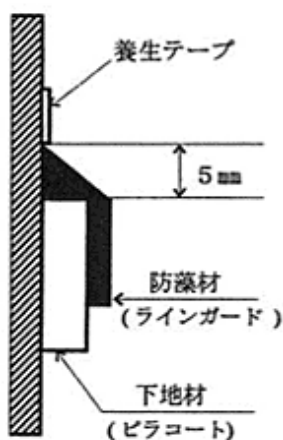
- コテで2回塗りをして2mm厚に平滑に仕上げる。  
(1回塗り1mm厚)
- コテ仕上げ作業後、養生テープを取り除き、端部を再度コテ押さえで仕上げる。  
(目安) 材料の半硬化時

- 膜圧の確認。
- 使用材料の確認。  
ピラコート  
1mm厚 2kg/m<sup>2</sup>  
2mm厚 4kg/m<sup>2</sup>  
ラインガード  
1mm厚 3kg/m<sup>2</sup>
- 作業通路の整理整頓を行う。

(2) ラインガード（防藻材）コテ仕上げ作業

- コテで2回塗りをして1mm厚に平滑に仕上げる。  
(1回塗り0.5mm厚)

- 混練塗材について  
\* 塗材は30～60分で使い切る。  
\* 夏場は15～30分で使い切る。



- ピラコート（下地材）より5mm上方に養生テープを貼り、コテ仕上げ端部は図の様に埋める。
- コテ仕上げ作業後、養生テープを取り除き、プラスチックコテを使い入念に表面、端部を仕上げる。  
(目安) 材料の半硬化時。

- 作業について。  
\* 5℃以下での施工はしないこと。  
\* 必ずコテ塗りで仕上げること。  
\* 刷毛引きで仕上げないこと。  
\* 下地材はゴムコテ、防藻材はプラスチックコテを使用する。

後始末作業 1.完了検査

ラインガード（防藻材）コテ仕上げ作業完了後、客先の立会検査を受ける。

- 検査項目
- 外観検査（施工範囲の確認）
  - 膜圧・出来形検査
  - 使用済材料（空袋、空缶）検査

2.仮設足場解体、及び清掃

(1) 客先による立会検査後、仮設足場解体作業を

- 安全带、手袋などの

行う。

(必ず2人以上の共同作業とし、材料の受渡しは、相互合図確認しながら作業する。)

着用。

○ 単独作業の厳禁。

(2) 足場材を槽外搬出後、槽内及び周辺の清掃作業を行う。

(番線、落下材料の除去。)

(3) 作業終了後、客先の確認を受ける。

○ 清掃後の廃棄物、使用済材料(空袋、空缶)は全て場外排出処分とする。

## 標準工程表 (施工面積: 300m<sup>2</sup>の場合)

下記の工程表の1目盛は1日です。

防藻塗装面堰300m<sup>2</sup>の平均述べ人数/約125人

下地処理及び塗装工事は1チーム5人で約25日(足場工事除く)

工事名: 防藻塗覆工事

工期 作業項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
足場仮設作業	■												
(下地処理) 目粗し・不陸調整 (サンダーケレン)		■											
高圧洗浄作業			■										吐出圧: 150kg/cm <sup>2</sup> 以上
墨出し・墨打ち 養生作業				■									
水系エポキシ樹脂 保護塗覆材(下塗)				■	■	■	■						2mmt
水系エポキシ樹脂 防藻塗覆材(上塗)							■	■	■	■			1mmt
				← ウエットゲージにて膜厚確認 →									
作業完了立会検査 (膜厚・出来形)										■			
足場解体作業											■		
清掃作業												■	